

荒川を舞台にした伝統行事～生活に密着した水のお祭り～

禊や供養、安全祈願など、地域の特徴が現れたお祭りが伝わっています。



川瀬祭（秩父市）



長瀬船玉まつり



川越氷川祭りの山車行事

集落ごとに異なる川にまつわる祭事

荒川流域には、川にまつわる祭事が多く存在します。しかし、一口に川の祭りといっても、その習俗は地域によりじつに様々です。流域に住む人々にとっての「川」は、まさに生活と密着した自然の一部です。それゆえに、人々が信仰の対象とした川は、集落の中を流れる自分たちの川だけでした。人々は集落ごとに、山間の沢に下っては人形を流し、神輿を瀬に浸け、腰まで水に浸かりながら水垢離をとり、あるいは御座舟や舟山車を流して水神祭りをおこないました。それぞれの祭り事を、それぞれの地域が伝承してきたのです。

祭りは大きく二つの種類に分けられます。ひとつは人や村に取りつく悪霊や厄を川に流し、川の水で身を清めるというミソギの儀式です。

もうひとつは、水神様を祀り、洪水や水の事故で犠牲になった水難者の霊を供養し、水難除けや水上安全を祈願するための祭りで、長瀬の船玉まつり、寄居の水天宮祭りなどがあります。

▶ 川にお神輿を担ぎこむ秩父川瀬祭（秩父市）

秩父神社の摂社、日御碕宮（ひのみさきぐう）お祭りで7月19日20日に行われます。両日、笠鉾4基・屋台4基の加齢な山車が曳行され、曳き子や囃子手を子どもが務めることから、川瀬祭は子どもの祭りとも言われています。

20日には秩父神社境内に集合した笠鉾・屋台と御神幸行列が、荒川の斎場へ向かい、神輿が清流の中へと入り清める「神輿洗いの儀式」で悪疫を祓います。



秩父川瀬祭

▶ 寄居玉淀水天宮祭（寄居町）

8月の第一土曜日に玉淀河原でおこなわれる水天宮を祀る祭りです。午前10時、水天宮の社で祭事がありますが、水天宮の水神様だけでなく、安産の神様でもあり、妊婦も多く訪れます。

夕方、町を回り荒川の玉淀河原に着いた神輿は、川でもまれ、その後祝詞をあげます。ぼんぼりをつけた山車舟が川を上下し、灯篭流しや花火などもおこなわれます。



寄居玉淀水天宮祭

▶ 上寺山のマンガリ（川越市・入間川）

7月14日に近い日曜日／上寺山にある八坂神社の夏祭りです。まず青竹と麦藁でボンテンを作り、これとシメナワを持って村中を回り、地区境に悪霊除けのお札を立てます。

川に着いたら水の中にシメナワを張り、ボンテンを立てて、悪疫退散、家内安全を祈ります。

その後一行は八坂神社に戻り、ボンテンを大山石尊様に納めます。



上寺山のマンガリ

アクセス

秩父神社

交通：秩父鉄道「秩父駅」下車、徒歩3分

住所：埼玉県秩父市番場町1-3



秩父神社

寄居玉淀水天宮祭

交通：東武東上線・JR八高線・秩父鉄道

「寄居駅」下車、徒歩約15分（玉淀河原まで）

住所：埼玉県大里郡寄居町大字寄居



玉淀水天宮祭

